

## 会議録 概要

### 【協議事項】

#### (1) 大分県地域福祉基本計画の素案について

##### 〈主な意見〉

- ・計画そのものは、包括的に語られていて、誰一人取り残さないことに配慮された計画になっているが、県が立てた計画を市町村がどう理解して、具体的な事業実施に結び付けていくのかということに加え、どういふふうにより市内の市町村の格差をなくしつつ、この計画を実施していくのかが大きな課題。
- ・総合的な問題に対応するためにも、相談体制をきちんと整えるうえで大事なことは、その問題に対応できる専門家がどう配置されているか、育っているかである。人材育成も大切な観点。
- ・家族や地域の支え合い機能が低下している中で、日常生活自立支援の取組が重要になってくる。成年後見制度の、現状・課題、強化するための取組のところに、日常生活自立支援事業に関する内容を記載してほしい。
- ・今の現状では、民生委員だけでは仕事をすることはできない。地域共生社会という中に乗って、一緒に民生委員の仕事をするという時代になってきている。特に行政の協力が一番大事。特に民生委員サポート制度を広げてほしい。
- ・まだ人材不足というのがとても酷い。施設の人員が足りなくて、在宅や地域に出せないということもある。人材不足のことについても、法人にももう少し余裕が出れば、地域の核となり、もっとこの計画も進むのではないか。

### 【その他】

#### (1) 大分県こどもの生活実態調査結果について

##### 〈主な意見〉

- ・今後、調査をするのであれば、こどもの生活実態調査とヤングケアラーの調査をクロス集計してみるなど、支援が必要なこどもたちの実態を2つの調査を紐づけて検討できないかということも踏まえて調査設計するとよい。
- ・ヤングケアラーが増えたことは、認知度が上がったことが一つ大きな要因だと思われるが、まだ隠されている数値もあるかと思うので、答えていないこどもたちの実態把握というところも少し視野に入れて検討してほしい。
- ・民も大事だが、官も専門家の力をつけていくところに尽力してほしい。地域に専門家がしっかりと根付いていくことが大事。5年、10年後、市町村でしっかりやっているといえる大分県であってほしい。